

講義名	教育相談【教職科目】			授業形態	
担当教員	岩崎 久志	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

教育相談の理論と方法について学んだ上で、子どもの発達、心理的問題の理解、対応を取り扱います。近年、学校現場で関心を集めている発達障害、特別支援教育やいじめの問題、子どもの暴力の理解とその対応を中心に取り上げる。

到達目標

教育相談活動は、子どもの教育上の問題について、子ども本人や、保護者、教師に助言、指導をしていく活動である。この授業を通して、教育相談の理論や方法に習熟することができるようになる。また、子どもの心理的問題、発達上の問題や、いじめ、学級崩壊など教育現場における問題について理解できるようになる。

提出課題

その都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題を提出してもらった直後の授業において、講評および質疑応答を実施する。

評価の基準

(a) 毎回の講義で課題を出す。
(b) レポート。
それぞれが成績に占める比率は(a)30%、(b)70%とする(予定)。

履修にあたっての注意・助言他

教員を目指す者としての自覚と積極的な意識を持って、授業に臨んでほしい。

教科書

.なし.					
------	--	--	--	--	--

参考図書

.教育相談【第2版】.	森田健宏・吉田佐治子	ミネルヴァ書房	2750	9784623096114

その他

プリント資料は都度配布する。

授業計画

第1回：教育相談の理論と方法
 予習内容：シラバスを熟読し、教育相談に対するイメージを言葉にまとめたうえで講義に出席すること(90分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(150分)
 第2回：カウンセリングの種別① 家庭中心アプローチ
 予習内容：カウンセリングに対する自身のイメージを言葉にまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第3回：カウンセリングの種別② 情緒・感情・社会
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第4回：カウンセリングの種別③ カウンセリングとアセスメント
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第5回：発達障害の問題①-学習障害
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第6回：発達障害の問題②-ADHD・自閉性スペクトラム障害
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第7回：特別支援教育の在り方について
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第8回：不登校の問題
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第9回：いじめの問題①
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第10回：いじめの問題② いじめを推進する学級運営
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第11回：指導と体罰をめぐる問題
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第12回：虐待の問題
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第13回：子どもの暴力 学校場面における暴力的な子どもへの対応
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第14回：授業崩壊の問題
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
 第15回：地域の専門機関、他職種との連携について
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(120分)
 復習内容：授業の全体を振り返り、教育現場や教育相談における課題を整理し、相談体制のあり方について、あらかじめ熟考すること(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

教職課程に位置づけられる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、説明のあと質問をしたりコメントを求める。

実務経験の有無及び活用

備考

質問は随時受け付ける。